逆から 考える ドリル③

中2／ドリル 項目3 ③（逆向き・与え方を変える）／目標 12分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・くじ・玉・さいころ・硬貨は どの 結果も 同じ 程度に 起こる ものと する。 大問1は、白玉の 個数や ある 数を 整数で 四角に 書く。
・大問2は、それぞれの 確率を 約分した 分数で 四角に 書く。
・大問3は、見出しに あう ものを 1つ ○で かこむ。

大問1 確率から 数を 求める

(1) 赤玉 3個と、白玉が 何個か 入った 袋から 玉を 1個 取り出す。赤玉が 出る 確率は $\frac{1}{5}$。白玉は 何個か

白玉 □ 個

(2) 赤玉 4個と、白玉が 何個か 入った 袋から 玉を 1個 取り出す。赤玉が 出る 確率は $\frac{2}{5}$。白玉は 何個か

白玉 □ 個

(3) 1〜40の カードから 1枚 ひく。ある 数の 倍数が 出る 確率は $\frac{3}{20}$。ある 数（2以上）は いくつか

ある 数 □

大問2 同じ 袋の 確率を 2つ 書く

(1) 赤玉 7個、白玉 5個の 袋から 玉を 1個 取り出す。

赤玉の 確率 □ 白玉の 確率 □

(2) 赤玉 2個、白玉 3個、青玉 5個の 袋から 玉を 1個 取り出す。

赤玉の 確率 □ 青玉の 確率 □

大問3 確率を くらべる

(1) さいころを 1個 投げる。次の ア〜ウの うち、確率が いちばん 大きい ものを ○で かこむ

ア 4以上の 目が 出る　イ 4より 大きい 目が 出る　ウ 5以下の 目が 出る

(2) 1〜24の カード24枚から 1枚 ひく。次の ア〜ウの うち、確率が いちばん 小さい ものを ○で かこむ

ア 3の倍数であり、かつ 4の倍数でも ある カードが 出る　イ 3の倍数の カードが 出る　ウ 4の倍数の カードが 出る

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「確率」のプリント一覧がひらきます

逆から 考える ドリル③【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中2／ドリル 項目3 ③（逆向き・与え方を変える）／目標 12分

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

大問1 確率から 数を 求める

(1) 赤玉 3個と、白玉が 何個か 入った 袋から 玉を 1個 取り出す。赤玉が 出る 確率は $\frac{1}{5}$。白玉は 何個か

白玉 **12** 個

(2) 赤玉 4個と、白玉が 何個か 入った 袋から 玉を 1個 取り出す。赤玉が 出る 確率は $\frac{2}{5}$。白玉は 何個か

白玉 **6** 個

(3) 1〜40の カードから 1枚 ひく。ある 数の 倍数が 出る 確率は $\frac{3}{20}$。ある 数（2以上）は いくつか

ある 数 **6**

大問2 同じ 袋の 確率を 2つ 書く

(1) 赤玉 7個、白玉 5個の 袋から 玉を 1個 取り出す。

赤玉の 確率 $\frac{7}{12}$　白玉の 確率 $\frac{5}{12}$

(2) 赤玉 2個、白玉 3個、青玉 5個の 袋から 玉を 1個 取り出す。

赤玉の 確率 $\frac{1}{5}$　青玉の 確率 $\frac{1}{2}$

大問3 確率を くらべる

(1) さいころを 1個 投げる。次の ア〜ウの うち、確率が いちばん 大きい ものを ○で かこむ

ア 4以上の 目が 出る　イ 4より 大きい 目が 出る　**ウ 5以下の 目が 出る**

(2) 1〜24の カード24枚から 1枚 ひく。次の ア〜ウの うち、確率が いちばん 小さい ものを ○で かこむ

ア 3の倍数であり、かつ 4の倍数でも ある カードが 出る　イ 3の倍数の カードが 出る　ウ 4の倍数の カードが 出る

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1 (1) 白玉 12個 (2) 白玉 6個 (3) ある 数は 6。(1)(2) 全部の 玉は 赤＋白。確率 ＝ 赤 ÷ 全部 から 全部の 数を 出して 赤を ひく。(3) 確率を $\frac{3}{20}=\frac{6}{40}$ と 約分前に もどすと 倍数は 6個（6、12、…、36）→ ある 数は 6。

大問2 (1) $\frac{7}{12}$、$\frac{5}{12}$ (2) $\frac{1}{5}$、$\frac{1}{2}$。分母は どちらも 全部の 玉の 数。

大問3 正解は (1) ウ 5以下の 目が 出る (2) ア 3の倍数であり、かつ 4の倍数でも ある カードが 出る。条件に 合う 数を 書き出して くらべる（個数が 多いほど 確率が 大きい）。

別解の 扱い：確率は 約分した 分数（上下でも 斜め線でも ○。小数・百分率・約分前は ×）。場合の数は 数だけ（「通り」は あっても ○）。